

根管洗浄のスキルアップとNiTiロータリーファイルを完全にマスターするために

根管清掃の質を高め、歯内療法を成功に導く

歯内療法は物理的に見えにくい根管内において行われる繊細な処置の連続であり、さらに根管内に残存するバイオフィームははっきりと見えないものも多いため、自分が頭の中でイメージしている処置と、実際に行われた処置が異なっている可能性があります。つまり、感染源の除去を行っているつもりであっても、実際にはできていない可能性があるのです。

本ハンズオンセミナーでは、自分がこれまで行ってきた手技で、どこまで根管清掃をはじめとする基本操作が達成されているのか、という点を顧みて検証することが大きな目的です。特に機械的根管清掃においては、その手段としてNiTiロータリーファイルの安全な応用を完全にマスターすることが第2の目的です。1回の実習ではなかなか身につかない繊細なファイリング操作と勘所について、実習を3回にわたり徹底的に行い、そしてその都度質疑応答を繰り返すことにより、本格的にNiTiロータリーファイルを臨床応用することが可能となることを経験しています。

日常的でありながら非常に難しく、手間のかかる歯内療法を、楽しみを感じながら進められるようになることが、本セミナーの最終目標です。



● 講師

阿部 修 先生

医)平和歯科医院
東京都武蔵野市開業
歯学博士
東京歯科大学非常勤講師

● 日程(全3回コース)

13期

2023年4月16日・5月21日・6月18日

14期

2023年9月10日・10月15日・11月19日

※いずれも日曜日開催

● 時間

10:00~16:30

● 定員

15名

(定員になり次第締め切らせていただきます)

● 受講費

198,000円

(昼食・消費税含む)

● 会場

ケーオーデンタル(株)杉並本社
東京都杉並区松庵1-18-13



会場QR



13期申込は
こちら



14期申込は
こちら

● 申込方法

- ・お申込み確認後、改めて弊社より受講費に関するご連絡をさせていただきます。
- ・ご入金の確認をもって正式受付とさせていただきます、当日の持ち物、その他の事前案内を後日送付致します。

● 個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報につきましては、以下の目的の範囲内で使用させていただきます。

その他の目的での利用およびその他第三者へのデータ提供は行いません。

1. 秘密保持契約を締結した本セミナー講師及び本セミナーにおける協力メーカー
2. セミナー運営に係る事務処理のため
3. 弊社営業員による商品の提案・業務連絡のため
4. 弊社主催セミナー情報の提供のため

● 緊急時のセミナー開催について

1. 弊社は、以下の事項に該当する場合、セミナーの開催を中止・延期する場合がございますのでご了承ください。
会場施設のある地域において行政機関より避難準備または、避難を伴う警戒レベルの通知があった場合等、やむを得ない事情でセミナーが安全に開催できないと弊社が判断した場合
2. 前項に基づくセミナーの中止においては、交通費、宿泊費、通信費、手数料等の補償は出来かねますので、予めご了承ください。
3. 前項の事象による開催の可否については、弊社ホームページにてご案内申し上げます。

● 申込・お問い合わせ TEL. 03-3344-1188

ケーオーデンタル株式会社

業務推進部 セミナー販促課

〒163-0553 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル19階

根管清掃の質を高め、歯内療法を成功に導く

根管洗浄のスキルアップとNiTiロータリーファイルを完全にマスターするために

自分の手技による根管拡大や根管洗浄が的確にできているのかどうか、これを様々な実習を通して検証し、どのような操作をどのような器具を使用して行えば解決できるのかを確認します。3回の実習とディスカッションを通じて、私たちGPの歯内療法の質を少しでも高めるために、具体的に何ができるのかについて、先生方と共に学びたいと考えております。

講師 阿部 修

● 講義 実習 内容

1. 歯内療法を非外科的に成功させるために必要なEvidenceと臨床の実際

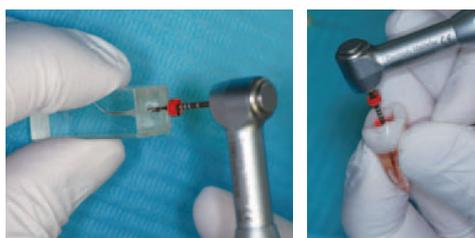
2. 基本手技の重要性とその検証

機械的・化学的根管清掃の質を実習で検証



3. NiTi ロータリーファイルをマスターする

ガイドパス形成法
根管拡大形成法
Multiple File System
Single File System



4. NiTi ロータリーファイルによる根管拡大形成後の根管充填法とは従来法とコアキャリアー法



5. 再根管治療の成功率を高めるために

支台除去
隔壁形成
ガッタパーチャ除去

